

大学院生向け啓発セミナー

Rinki Ito

(Graduate School of Economics, Kyoto University, D2)

September 20, 2022

- 自己紹介
- 修士課程の流れ
- 修士論文構想
- 進路
- 博士課程の1年

自己紹介

• 経歴

- 名古屋市立大学経済学部2019年卒業
- 京都大学大学院経済学研究科（修士課程）2021年卒業
 - 研究者養成プログラム
- 京都大学大学院経済学研究科（博士課程）2021年入学－現在

• 研究

• 関心事

- 知識の拡散 (Knowledge diffusion)
 - 国際経済学・空間経済学・ネットワーク

• 修士論文

- An Empirical Study of Centrality in Production Networks and International Technology Diffusion.

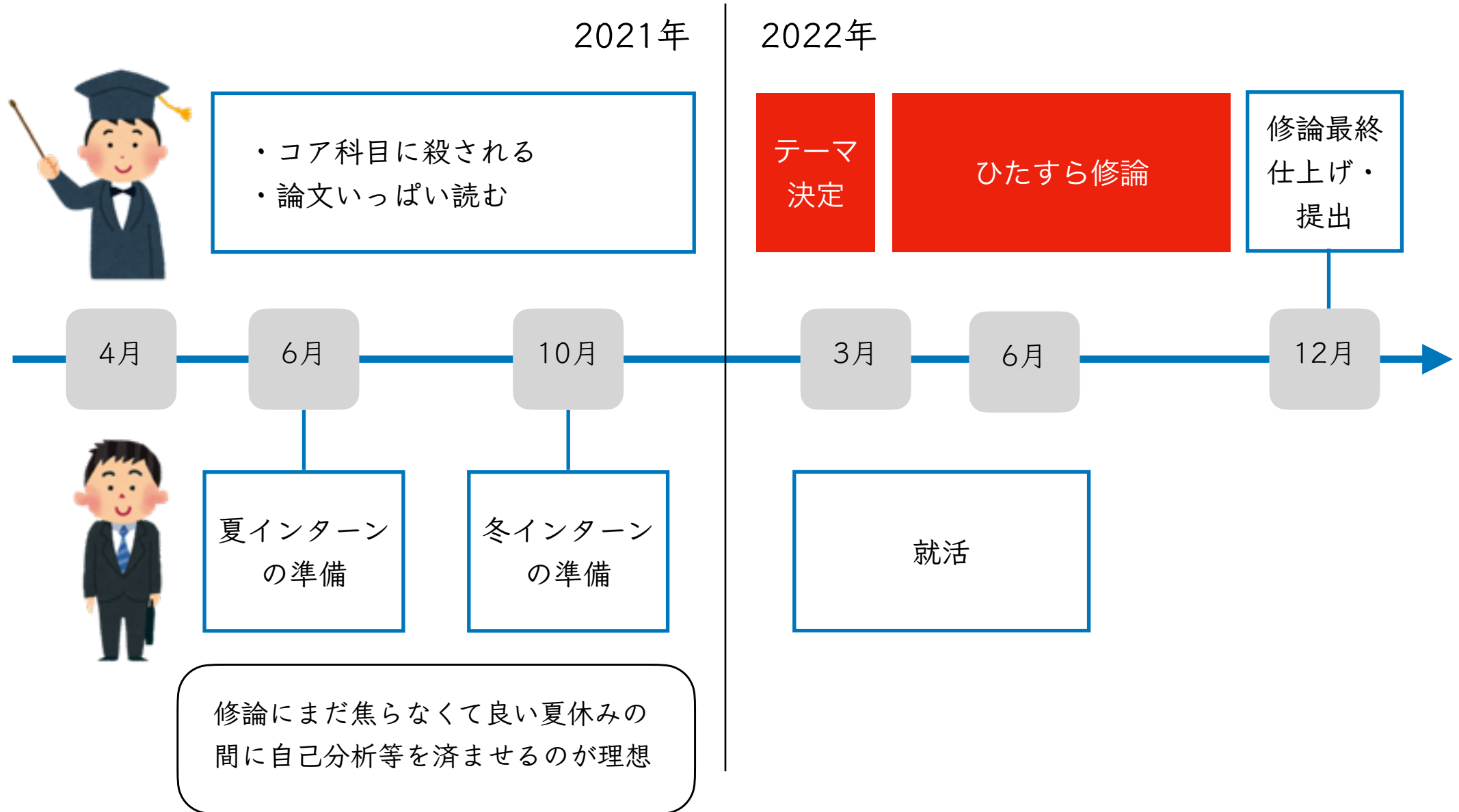
• 趣味

- 読書、映画、音楽、タバコ

なぜ大学院に？

修士課程の流れ

- 修士課程は2年間。思ったより時間ないよ！！



修士は逆算で
生活する事が大事！

- 修士論文は、初めて一人で一通りの研究を行うテストのようなもの！
- 研究の主要素は以下の4つ：
 - リサーチクエッションは妥当？
 - 仮説は適切か？
 - どれだけの貢献があるのか？
 - 適切な分析がされているか？

リサーチクエッションは妥当？

- 研究で一番大変な作業！！
- 関心分野はどれだけ解明されているか？
 - とにかく論文を読むことが大事
- (実証分析する場合)データは利用可能か？

仮説は適切か？

- リサーチクエッションに対する仮説を立てる必要がある。
- 仮説なしに分析を進めるのは危険！
 - 時間の無駄になり得る
- なぜその仮説が導かれるのか、きちんと示す必要がある

どれだけの貢献があるのか？

- 先行研究と比べ、どういった点が新規性となっているのか？

適切な分析がされているか？

- 分析にはきちんとした根拠があるか？
 - 闇雲に変数を追加すれば良いものじゃない！
 - 先行研究が参考になる

- リサーチクエッション探しが大変な作業であることはわかった。
- じゃあどうやって見つけるのか？



論文の読み方が大事！！

- 落合陽一先生のやり方がとても参考になる！(P23～)
 - 何をした？
 - 何が新規性？
 - 分析手法のキモは？
 - どうロバストチェックした？
 - 議論は？
 - 次に読むべき論文は？

iPadでも紙でも、読んだ論文を1～2ページでまとめるのがおすすめ！

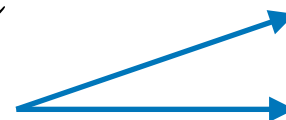
TeXは使えるようになったこう

- 論文をまとめる際、TeXが使えるととても楽！
 - Wordだと数式等の入力がかかなり面倒。。
- ローカルにTeXをインストールしても良いけど、自分は基本的に Overleaf を使ってます。

- 最後に進路の話

- 進路において、以下3つのパターン

1. 博士課程を考えている人



海外進学

国内進学

2. どっちか迷ってる人



自分はこれだった

3. 就活を考えている人

- 今回は特に1と2について触れ紹介します。

進路： 博士課程を考えている人（進学先）

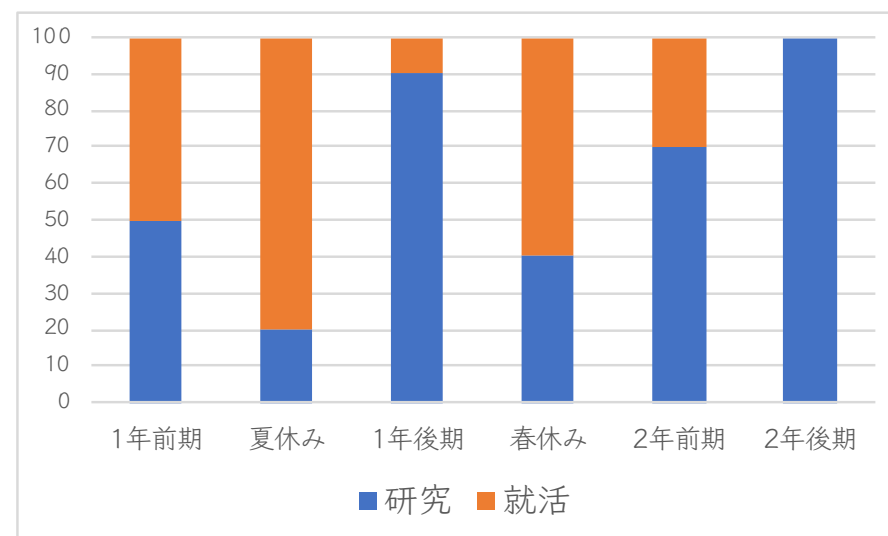
- 博士課程を考えている人の進路として、特に海外進学を考えているのであれば、以下の2つを最重視すべき！
 - GPA
 - 低いとそもそも書類見てもらえない可能性大
 - 推薦状
 - 誰に書いてもらえるかが死ぬほど大事
- ただ、自分は海外進学を考慮すらしていなかったなので、詳しい情報は担当教員やネットの留学体験記を参考してください。。。

進路： 博士課程を考えている人&どっちな迷ってる人（お金）

- 博士課程とお金はずっと付きまとう悩み。。。
 - ただ、最近では前に比べ、博士学生に向けた支援金が充実してる！
 - 支援金がまとめられたありがたい[サイト](#)
 - まずは募集要項の確認！
 - 締め切りはいつか
 - **何が聞かれているのか**
 - 理解を深め対策しておくのが大事（ESと一緒に）
 - 自分が受けた支援プログラムは以下2つ：
 - 文科省フェローシップ（2021年12月～2022年3月）
 - 学振DC2（2022年4月～）
 - 6月くらいに書類を大学を通して送付するため、春休み明けくらいから作成
 - 内定者の構成を参考にしたが、ほとんど理系の人なので注意

進路：どっちか迷ってる人（両立）

- 博士課程への進学を考える場合、研究もそれなりに頑張る必要がある。
とはいえ就職も候補にあると両立できるか不安。。。
 - 自分はその板挟みの中、**戦略的に物事を整理**し、なんとか志望先から内定をもらうことができました。
- 自分の2年の過ごし方を「研究：就活」の2つの割合を評価してみます（右図）
 - 研究
 - 夏休みは週ノルマで論文を漁る
 - 冬休みあたりからリサーチクエッションを探る（春休みで確定）
 - 就活
 - 夏休みに就活全般の対策
 - 春休みに見直し（就活解禁以降、面接だけなので基本暇）



- まず、研究や授業がどれだけ忙しいのかを把握するのが大事。
 - 自分は研究者養成コースというもので入学しているので、これらの比重が重め。博士への進学も考えていたので、かなり数を絞って就活（全部第一志望）。あまり参考にはならないかも。
 - 受けた企業数は
 - 夏インターン：2社
 - 最終的に受けた企業：6社
- 就活に正解はないですが、個人的にうまくハマったな、と思う点は
 - 自分の入社後の解像度を最大限あげられたこと。
 - 「会社のどこでどうお金を生み出すことができるのか」をうまく説明できた。
 - 親しみやすい印象を残せられたこと。
 - 面接だけどフランクに。先輩に気に入られる後輩みたいなイメージ

- 博士課程は気軽におすすりめできないけど、時間がかかり自由に使えるので、**行動さえすれば面白い経験**がたくさんできます！！



学振(DC2)への採択が決定！
お金の心配がなくなったのは
でかい



友達に誘われ起業！
ビジネスの難しさを知る



経済学のビジネスへの応用
を目的としたデータ分析コ
ンサルに志願し、RAとして
働く



先輩の紹介で、財務省の研究
所で働くことに。
研究員と共に論文を作成
し、研究所の雑誌で刊行。

- あっという間の2年間。どう大学院を過ごすのか？

ご清聴ありがとうございました！

自分の研究 (修士論文)

